

熊本県立
1995.3
大学学報

第3号

春

秋

shunjūsai

彩



星の煌(きら)めいた年

熊本県立大学長 手島孝

人生には、その人の運命の星がまばゆく光り輝く秋(とき)がある、といいます。わが大学にとって、1994年という年は、まさしくそのような年であった、といえます。

名がわかりました。熊本県立大学とは、ちょっと散文的かもしれませんが、しかし、徒らに奇を衒わぬ堅実な呼称ではありませんか。ロマンチックな詩的表現の方は、校名を追って改定された新番地一健軍町字水洗から月出三丁目へに倣(ま)ちましょう。

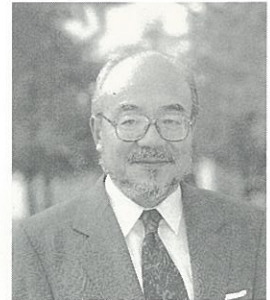
実も一新されました。まずは、多年懸

案の共学化が実現。キャンパスのプロンズ「乙女の像」は、今や「アルマ・マテル」(原義はラテン語で「戀しみ養う母親」、転じて「母校たる大学」の意)の像へと成長しました。

つぎには、新しく総合管理学部を加えた3学部体制の確立。教授陣も学生数も一挙に増強されました。1995年度からは、新学部を皮切りに、熊本大学・熊本学園大学との間に単位互換という画期的制度も発足します。

同時に学舎・施設も飛躍的充実を見たこの1年。星煌めき、そこに瞬間照らし

出された栄光への途を進むのは、これからのわれわれの地道な努力に一にかかっています。



学長 手島 孝

変革と伝統がせめぎあうカオスから1年。 新緑にも似た、県立大学の息吹が芽を出しました。

平成6年度卒業式 3月15日に209名が卒業

県立大学となってから初めての卒業式及び大学院学位授与式が、3月15日に熊本県立劇場において行われた。爽やかな風が吹き、木の芽のふくらみにも春の訪れを感じる中、卒業生総勢209名が本学を巣立っていった。式は6名の各学科及び大学院代表への卒業証書授与及び学位記授与、学長からの祝辞、知事からの告示に続き、県議会議長、後援会会長坂本良二氏、同窓会会長平

野多嘉子氏の3名の来賓から祝辞をいただいた。式終了後は、ガウンと角帽姿で記念撮影が行われた。この姿は女子大学時代からの長い伝統を示すとてもユニークなもので、在学生だけでなく、学外からも取材されたりと注目度は高い。厳しい就職戦線を勝ち抜き、新しい人生への第一歩を踏み出そうとしている卒業生を心から祝福し、健闘を期待したい。

●各学科代表者

学部	文学部	日本語日本文学科	市丸佳代子
		英語英米文学科	西 瑞穂
	生活科学部	食物栄養学科	太田 香織
		生活環境学科	田尻 智子
		生活経営学科	岩本 陽子
大学院	文学研究科	日本語日文学専攻	福山 寿子



平成5年度卒業式の様子

平成6年度 授業公開講座閉講

平成6年度の授業公開講座の閉講式が平成7年2月22日(水)に本学中講義室で行われた。平成2年に始まり、今年で5年目を迎える本学の授業公開講座は、他の大学に多い短期集中型で社会人のみの公開講座ではなく、学生と机を並べて大学の正規の授業に参加するという全国でもユニークなもの。講座はすべて正規の授業であるため、受講者約160名は半年間又は1年間受講

を続けたことになる。今回行われた閉講式では、受講者のうち約60名が集まり、手島学長から受講者への挨拶と修了証の交付が、受講者代表からは学長への挨拶があった。本講座は平成7年度も継続して開講されることになっており、講座数はさらに増え59講座を予定している。閉講式では、平成7年の受講案内の配布も行われた。

※問い合わせ先・熊本県立大学教務課(内線207)



平成7年度 入試状況について

応募状況と今年の傾向

大学入試センター試験が1月14日(土)・15日(日)の両日、また個別学力検査が前期2月25日(土)・後期3月12日(日)に本学を会場として行われた。今年の本学への志願状況は、全体で募集人員376名に対し、志願者2,852名で志願倍率7.6倍であった。ちなみに全国国公立大学2次試験の平均倍率は5.5倍であるので、かなりの高倍率といえる。

各学部では、文学部が募集人員72名に対し志願者1,074名で志願倍率は14.9倍。生活科学部が募集74名に対し

志願者539名で倍率7.3倍。総合管理学部が募集230名に対し志願者1,239名で倍率5.4倍。また、今年から「分離・分割方式」を採用したが、前期日程は志願者969名で志願倍率7.3倍、後期日程は志願者1,883名で志願倍率7.7倍との結果になっている。学科別では、文学部の英語英米文学科の前期日程は募集人員6名に対し、志願者179名で志願倍率29.8倍、今年からセンター試験を利用した総合管理学科は昨年度の倍率26.6倍から5.4倍となった。

平成7年度一般選抜前期日程試験結果

	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	競争倍率	
文学部(12)	242	215	16	13.4	
生活科学部(40)	204	199	42	4.7	
総合管理学部(80)	523	523	122	4.3	
大学計 (132)	男	400	387	83	4.7
	女	569	550	97	5.7
	県内	506	496	81	6.1
	県外	463	441	99	4.5
	合計	969	937	180	5.2

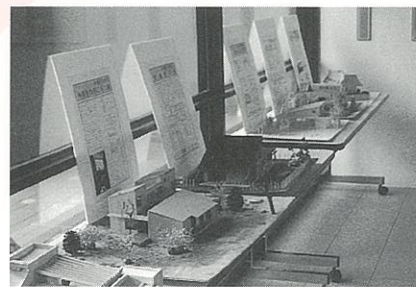
()は、募集人員

客員講師による公開講演会開催

平成7年1月20日(金)に、日本建築学会賞など数々の受賞歴を持つ東京在住の建築家 林雅子氏による公開講演会が「住まいと人生と語る」と題して開催された。客員講師による公開講演会としては、平成6年11月22日(火)に開催された山口五郎氏の「私の尺八人生」の講演につづき、今年度第2回目。会場となった大講義棟1階の大講義室

には、学生、一般の方合わせて300名近くが集まり、ほぼ満席の状態で開催が始められた。講演では、林氏が実際に設計した作品の設計図やしゃれたデザインの写真紹介をまじえて、手法が説明された。講演を聴きに集まった人の中には、建築関係者の方も多く、かなり興味深いものとなった。大講義室前のロビーには、本学の生活環境学

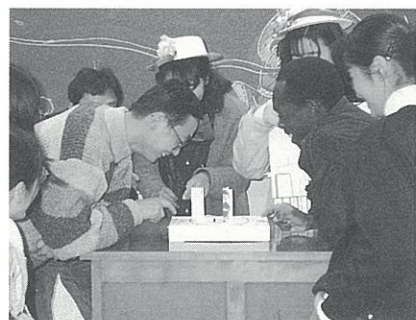
科の学生が「造形実習」の授業で製作した林氏の作品の模型などが展示され、講演の前後に、鑑賞している人が多く見受けられた。



国際交流の集い

熊本県立大学国際交流会は、昨年12月18日(日)に本学講義棟で、熊本県内在住の留学生約15名とクリスマスパーティを行い、アメリカ・イギリス・中国等計8カ国からの留学生とクリスマスにちなんだ各国の習慣や個人個人の思い出を語り合い、プレゼントの交換を行った。国際交流会は熊本県立大学学生委員会の一つで、本学の学生で構成されており、例年夏休み前に県内に住む留学生たちとキャンプ等の交流イベントを企画

実行している。本年も7月11日(日)から12日(火)の2日間に渡り、菊鹿町矢谷溪谷キャンプ場でバーベキューや滝滑りを楽しみ、花火や食事作りを一緒にすることにより、国境を越えた交流を行った。今回のクリスマスパーティは、この夏のキャンプでのネットワークから生まれたものである。平成6年度同会は委員長英文2年加藤亜希さんを中心にメンバー約20名、これからますます活発な活動が期待されている。



94年就職状況と 来年度の傾向と対策

平成7年3月に卒業する4年生は、採用枠の大幅削減やリストラ等といった逆風を真っ向に受け、非常に厳しい就職戦線となったが、それに拘わらず果敢に挑み、各々の道を切り開くことが出来たのではないだろうか。

出口の見えないトンネルにもようやく微かな光が見え始めたと言われるが、女子学生を取り巻く状況は、来年度も引き続き厳しいものと思われる。この

ような中であって、主に3年次生を対象に、就職意識の啓発、情報の提供等を目的として、平成7年2月13日から2月22日までの期間「就職セミナー週間」と銘打ってOG説明会や各種講演会等を実施した。

OG説明会では、各企業で活躍されている先輩を学内に招き、入社に至るまでのプロセスや企業の活動状況等について詳しく説明頂き、これからの就

職活動に大いに役立ったと思われる。また、公開模擬面接・マナー講座においては、リクルートから講師を招き、プロの目から見た的確な指導・助言を行い、OG講演会では、現役の全日空スチュワーデスを招き、スチュワーデスの仕事を通して、働く女性の立場から後輩へのアドバイス等を行った。

今後は、次のようなことを中心に就職支援策を展開、強化していく。

①4年次の面接

4月に学生課による個別面接を実施し、情報提供や適切な就職指導を行う。

②企業訪問

進路希望調査書や4年次4月の面接の聞き取りをもとに企業を選定し、4月から6月にかけて教員を主体として、九州各県はもとより関東、関西地方への企業訪問を行い大学のPR、企業情報等の収集に努める。

③公務員講座

2年次10月からの開講を予定。

④求人票送付企業の増

学生の企業選択肢の拡大を目指し、求人票の送付先を約1500社(平成6年度実績)から倍の約3000社(平成7年度予定)に増やす。

⑤就職意識アンケート調査

1・2年次生を対象に実施し、早期からの意識啓発やニーズの掘り起こしを行う。

内定状況

(平成7年3月1日現在)

	内定率	内定者の内訳		
		民間企業	公務員	教員
平成7年3月卒業予定者	77.0%	75.8%	17.7%	6.5%
平成6年3月卒業(最終)	82.8%	71.5%	20.1%	8.3%

施設紹介 外国語教育センター

外国語教育センターにはLL教室、テープライブラリー、コンピューターを利用した語学演習室CALL教室等の学習施設があり、同センター内と新講義棟2階・3階に設置されている。センターの活動は正規の講義と独自事業に分かれており、今回は独自事業を紹介する。

①学生向け自由講座

外国語コミュニケーション能力の向上を目指して本学学生を対象に開講される講座。授業外で、英語の会話力を身につけたい人は、積極的に利用してもらいたい。案内・募集は学期始め。

②トピック特別団体受験制度

TOEIC IP(TOEIC Institutional Program)

TOEIC(Test of English for International Communication)とは英語によるコミュニケーション能力を正確に測定するために実施される国際コミュニケーション英語能力テスト。本学では、このテストに団体で申し込みを行い受験することができる特別団体受験制度(TOEIC IP)を利用している。日時・場所も本学学生の皆さんが受験しやすいように設定でき、また、受験料も個人で申し込みを行う定期テストよりも安くなっている。毎年2回程度の実施を予定、在学中の英語能力の向上を測る目安として、是非、役立ててもらいたい。

③社会人講座

県内の英語教員を対象に夏季休業期間中に実施している「中学校・高等学校英語教員向け夏期講座」です。

※その他、外国語教育センターに関するお問い合わせは、教務課又は同センター2階・新講義棟2階にあるLL準備室まで。



LL準備室スタッフ 堀川さん(左)、沖村さん(真中)、福田さん(右)、田上さん

海外研修報告

『イタリア・ポローニャ留学紀』
生活科学部教授 中島照八郎

きはちろう

ポローニャはローマから北へ、特急列車で約3時間の所にある。1986年に一度訪れたことがある。駅前はずっと変わらず、そればかりが当時の地図がそのまま使える。語学学校手配の下宿に到着き1週間後、ポローニャ大学建築・都市計画学科主任カルロ・モンティ教授を訪ねた。彼は私に部屋を用意し、「自由な時に来てセミナーでもやろう」と言ってくれた。その後の10週間は語学学校通いと受験勉強並の日々。家を探し、家族を迎え、生活を整えて年は明けた。

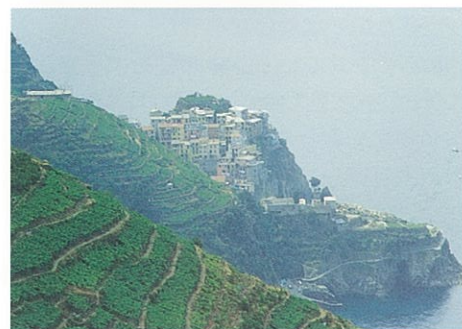
まずは、戦後イタリア農業史を知るべく、農学部・商工会議所図書館、県等の諸機関、書店を回る。図書館通いは4カ月、全国と20州の必要データを採り作表した。照明は暗く、日本人の私の弱った目には辛かった。人々は、調査・旅行・日常生活の全般を通じて、違和感無く、好意と興味をもって接してくれたが、我々が知らない以上に、日本を知らない。長期のヴァカンス、私や家族の病気を除いても、計画が欲張りすぎだった事を思い知ったが、資料収集、調査、約15,000kmに亘る旅行・見聞ができた。加えて、イモラ近郊の農家家族と知り合い、何度か家族で泊まり、ワイン造りを手伝い、互いの国の料理をつくり、不自由ながらイタリアと日本の農業・農村・生活を語り合えた。彼らの「部屋はあるからいつでも来いよ」という言葉はすばらしい宝物のように思われる。毎年でもイタリアを訪れ、研究を進めたいと思う所以である。



①言葉は不自由でも、イタリアと日本の農業・農村・生活を語り合った。モ子ロンおいしい自家製ワインを飲みながら。▲



②ナターレ(クリスマス)の夕暮れ、街は、美しいイルミネーションで飾られる。▲



③調査をしたCinque Terreの風景。海辺の急傾斜面に築かれたワイン用ブドウ畑と、高層に凝縮した集落中心市街地。▲

阪神大震災について

本学では願書受け付けの際、震災の影響を配慮したほか、3月30日に特例入試を実施、全学部で定員計14名の再試験及び再募集を行う。また、この震災では個人個人で様々な活動をされたであろうが、学内で目に付いたのは学生有志による募金の呼びかけ。講義棟と新講義棟にペットボトルが置かれ、小銭を中心に、時には伊藤博文の旧1000円札なども混じった善意が寄せられた。活動の中心となった総合管理学部1年中島雅智君によると、1月19日から2月10日までの約3週間で4万円を超える募金が集まり、日本赤十字社熊本支部へ贈呈したということ。また、2月18、19日の両日上通りと下通りであしなが育英会から進学した武庫川女子大学4年生の呼びかけで発足した「阪神大震災遺児激励募金実行委員会」が、全国一斉に震災遺児のために街頭募金活動を行い、本学学生有志も参加した。

※「第50回あしなが学生募金」について。病児遺児と災害遺児の奨学金収集を目的として来る4月22・23・29・30日の4日間全国300ヶ所で街頭募金活動を行う。熊本市内でも活動予定。詳しくは総合管理学部1年中島雅智君まで。



事務局から

平成7年4月に現在の体育館の東側に第2体育館と屋外プールが完成予定。造りは1F柔道場・剣道場・トレーニングルーム、2Fアリーナ。利用方法については現体育館と同様学生課へ申請してください。



学生部から

●**カウンセリング(学生相談)の実施**
平成6年度より学生相談室を設置しています。人間関係・経済的問題・学業・留学・就職・進学など学生生活の中でのあらゆる悩み、相談に応じていますので気軽に訪ねてください。
日時 週1回(開催曜日は後日連絡)
13:00~17:00
場所 総合管理学部棟2階カウンセリング室

図書館から

図書館内での順守事項を守らない方が時々見受けられます。館内規律を再度確認し、ルールを守って利用されるようお願いいたします。

熊本県立大学の主な行事
(H6.12.~H7.5.)

- 12月 4日 特別選抜試験
8日 特別選抜試験合格者発表
24日 冬季休業(～1月9日)
28日 仕事納め

- 1月 4日 仕事始め
14日 大学入試センター試験
15日



- 20日 客員講師林雅子氏講演会
30日 後期試験(～2月10日)

- 2月 8日 総合管理学部就職関係説明会



- 13日 就職セミナー週間(～22日)
17日 私費外国人留学生、大学院(後期)入学試験
22日 授業公開講座閉講式
25日 前期日程入学試験
27日 平成7年度授業公開講座受講者募集(～3月15日)

- 3月 7日 前期日程合格発表
私費外国人留学生、大学院(後期)入学試験合格発表

英検優良施設表彰

- 12日 後期日程入学試験
15日 卒業式
20日 後期日程合格発表
25日 春季休業(～4月8日)
31日 第2体育館・プール竣工

- 4月 7日 授業公開講座閉講式
10日 在学生授業開始
12日 入学式
13日 新入生オリエンテーション

- 14日 新入生授業開始
28日 学生健康診断

- 5月 2日 開学記念日



熊本県立大学

お知らせ

熊本県立大学は平成7年2月27日から住居表記が変わりました。なお、電話番号・FAX番号については従来の通りです。
<新しい住所> 〒862 熊本市月出3丁目1番100号 <TEL> 096-383-2929 <FAX> 096-384-6765